

令和7年度 友渚中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	241	56	53	6.4	9.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	511
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 友渚中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

全体の平均正答率では、国語は56%で大阪市平均を4ポイント、全国平均を1.7ポイント上回った。平均無解答率は、大阪市平均から0.4ポイント、全国平均から0.3ポイント下回った。数学は53%で大阪市平均を7ポイント、全国平均を4.7ポイント上回った。平均無解答率は、大阪市平均から1.5ポイント、全国平均から0.9ポイント下回り、積極的に回答する姿勢が見えた。

《国語の学習指導要領の内容》

「言葉の特徴や使い方に關する事項」の平均正答率は52.1%で、大阪市平均を4.2ポイント、全国平均を4ポイント上回った。
「話すこと・聞くこと」の平均正答率は53.2%で、大阪市平均を2.8ポイント上回り、全国平均では同率だった。
「書くこと」の平均正答率は54.5%で、大阪市平均を3.9ポイント、全国平均を1.7ポイント上回った。
「読むこと」の平均正答率は65%で、大阪市平均を4ポイント、全国平均を2.7ポイント上回った。

《数学の学習指導要領の内容》

「数と式」の平均正答率は49.8%で、大阪市平均を8.4ポイント、全国平均を6.3ポイント上回った。
「図形」の平均正答率は51.3%で、大阪市平均を5.2ポイント、全国平均を4.8ポイント上回った。
「関数」の平均正答率は53%で、大阪市平均を6.4ポイント、全国平均を4.8ポイント上回った。
「データの活用」の平均正答率は59.6%で、大阪市平均を5.6ポイント、全国平均を1ポイント上回った。

《理科の平均IRTスコア》

友渚中学校は、511%で、大阪市平均を22ポイント、全国平均を8ポイント上回った。

【今後に向けて】

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙結果において、「先生に良いところを認められていると感じている」の質問事項では、肯定的に回答している生徒の割合が全国よりも0.4ポイント高い。一方で、「自分自身に良いところがあると感じている」の質問事項で肯定的に回答している生徒の割合は、全国と比べて3ポイント低くなっている。今後は、生徒の自己肯定感を高めていくために学校生活の中で友渚中学校グランドデザイン(挑戦心・利他心・自律心)の取組をより一層、実現するために工夫していきたい。

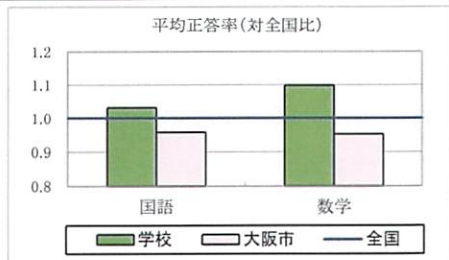
また、ICT機器の活用において、PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することやインターネットを使って情報を収集すること、図やグラフ等のICTを活用してまとめる力については、全国、大阪市と比べても低い。今後も、継続して学習者用端末をはじめとするICT機器の活用を学校全体で推進していく。

令和7年度 友淵中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

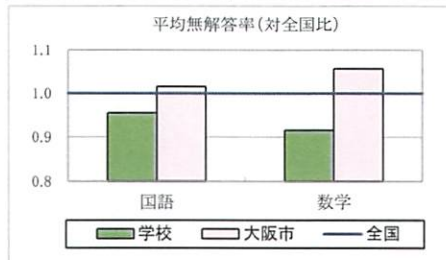
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	56	53
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

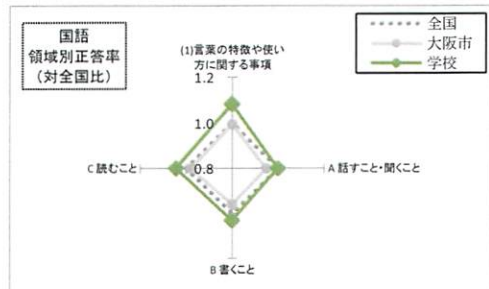
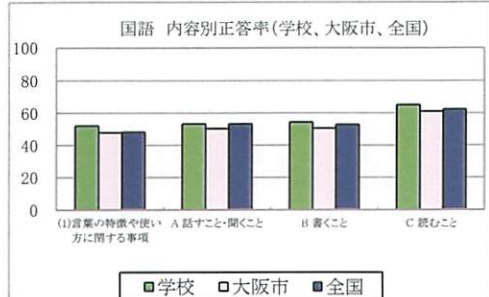


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.4	9.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



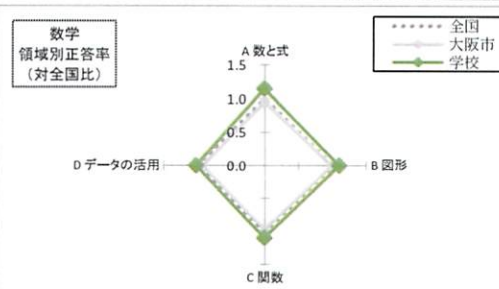
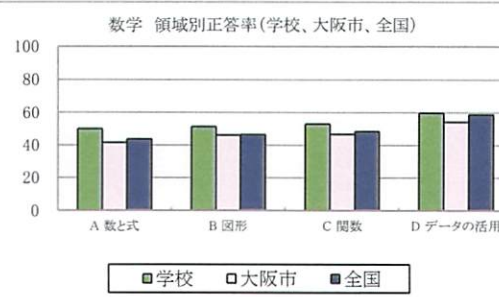
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	52.1	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	53.2	50.4	53.2
B 書くこと	5	54.5	50.6	52.8
C 読むこと	3	65.0	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	49.8	41.4	43.5
B 図形	4	51.3	46.1	46.5
C 関数	3	53.0	46.6	48.2
D データの活用	3	59.6	54.0	58.6

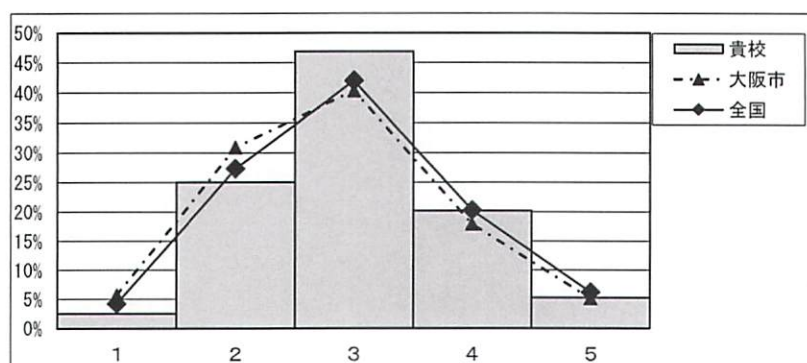
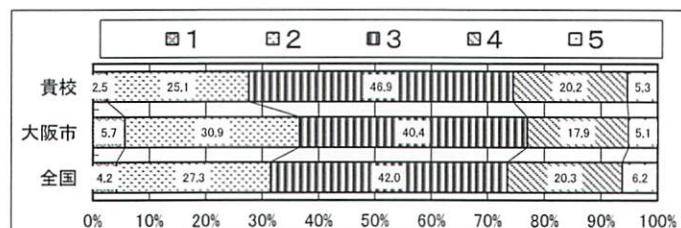


令和7年度 友淵中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	511
大阪市	489
全国	503



令和7年度 友渚中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

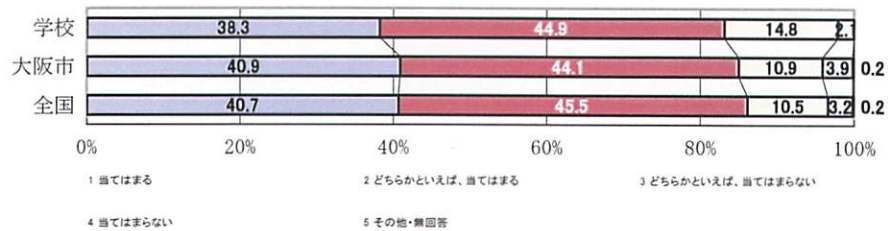
生徒質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

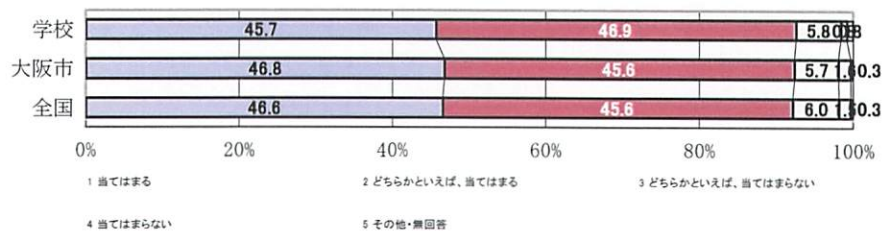
5

自分には、よいところがあると思いますか。



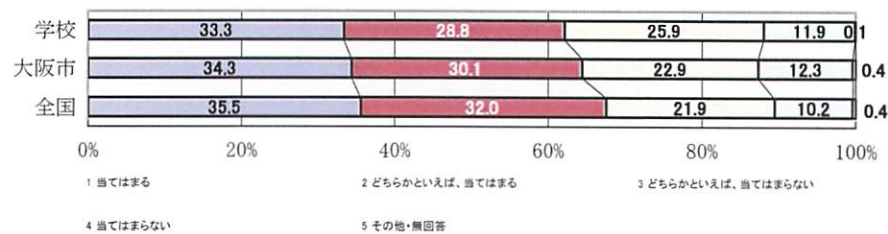
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



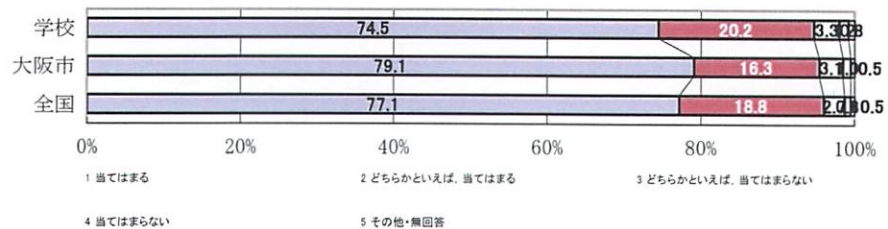
7

将来の夢や目標を持っていますか。



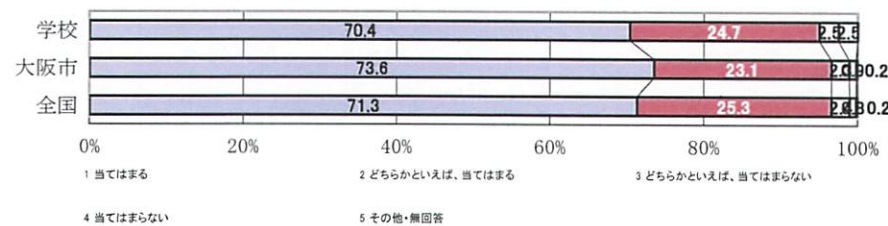
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



令和7年度 友淵中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

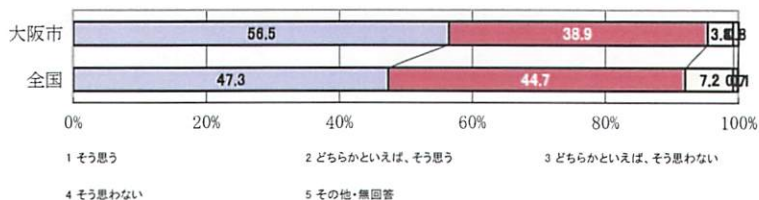
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

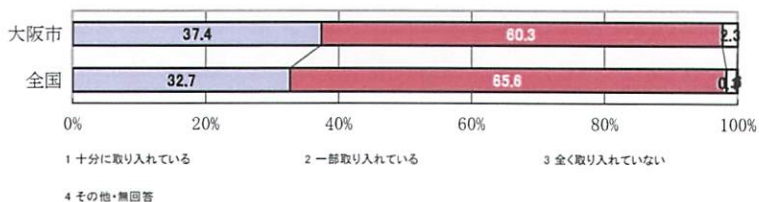
学校「そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

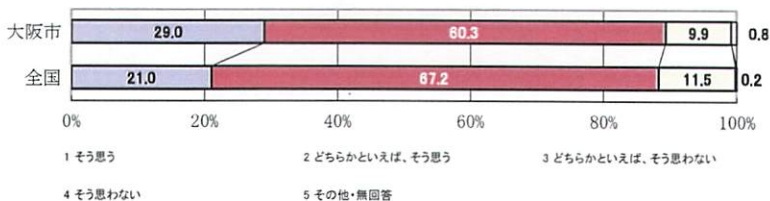
学校「一部取り入れている」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

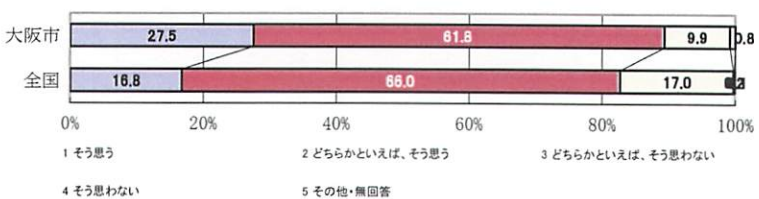
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



84

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校「行った」を選択

